

令和3年度 新潟市農業活性化研究センター試験成績書

研究課題	モモ「川中島白桃」の収穫期前後に出荷できる有望中晩生品種の選定
背景・ねらい	本市モモ産地は共選指定品種の12品種によりお盆需要を中心に7月中旬から9月中旬まで出荷されており、この出荷期間における安定した良品出荷が市場ひいては消費者との信頼関係を構築し産地として評価を高める要素となっている。しかし近年、山根白桃、ゆうぞらが着色不良やせん孔細菌病多発等により栽培が減退し、川中島白桃前後の出荷量の落ち込みが大きくなっておりこれらに代わる優良品種の選定が急務となっている。
担当者名	鍋田 慎介 中野 耕栄
研究期間	2019年～（継続2年目）

1 目的

有望な中晩生品種の収量、果実品質等を把握しその普及性について検討する。

2 方法

(1) 試験場所

新潟市農業活性化研究センター，露地，砂壤土

(2) 供試品種（樹齢）：川中島白桃（2），あこや（2），ふくよか美人（2），あぶくま（2），甘甘燦燦（2），さくら（2），西王母（2）

(3) 耕種概要

ア 栽植様式

斜立主幹形 株間2.0m

イ 施肥等

年間肥料成分 kg/10a : N:P:K=9.8:6.5:6.3（未成木）

石灰質肥料 100 kg/10a

土壌管理：雑草草生，適宜かん水

ウ その他栽培管理及病虫害防除

果樹指導指針（新潟県平成31年3月），「令和3年度版果樹防除ハンドブック（新潟県果樹振興協会発行）」に概ね準拠

4 結果と概要

供試品種間の展葉・開花期は3日程度の早晩があった。また一部の品種で僅かに着果を確認した。本格的な品種特性把握のための調査は次年度以降とする。

なお、川中島白桃より前に成熟すると思われる3品種（夏の陽，きらり暁，あかもも）を12月10日に新たに植栽した。

表1 栽培法（品種）と生育要期

栽培様式	品種	展葉期	開花期		
			始め	盛り	終わり
オールバック 1本主枝 (シンプル仕立て)	川中島白桃（対照）	4月6日	4月5日	4月8日	4月18日
	あこや	4月5日	4月3日	4月6日	4月16日
	ふくよか美人	4月6日	4月4日	4月7日	4月15日
	あぶくま	4月4日	4月2日	4月5日	4月16日
	甘甘燦燦	4月4日	4月2日	4月5日	4月15日
	さくら	4月4日	4月3日	4月6日	4月17日
	西王母	4月3日	4月4日	4月7日	4月17日